

漁業集落復興効果促進事業の概要を示す書類

事業番号	◆C-5-1-1	事業名	(4) 漁業集落再編コーディネート事業
事業概要	<p>1 細要素事業名 漁業集落再編コーディネート事業</p> <p>2 事業の目的 本事業は漁業集落防災機能強化事業における事業の適正な管理や調整等を委託することにより、行政のマンパワー不足を補うとともに、復興事業全体の円滑な進捗を図ることを目的として、平成 24 年度から継続して実施しているものである。 平成 27 年度は、集団移転地での住宅再建という新たな段階に入り、復旧・復興事業における基盤整備が最終段階となることから、引き続き各種復興事業の進捗管理をするとともに、地域コミュニティの再構築に向けた検討を行うものである。</p> <p>3 事業の内容 各種復興事業の進捗管理及び地域コミュニティの再構築に向けた検討に必要な資料の収集・作成・整理</p> <p>4 事業費 調査委託費 1,842 千円</p> <p>5 着手年月日 平成 27 年 4 月 20 日</p> <p>6 基幹事業との関連性 被災した小本地区においては、小本駅周辺において、当該漁業集落防災機能強化事業をはじめ、都市防災総合推進事業、小中学校の移転復旧事業、幼稚園・保育園の多機能化・複合化事業等、多様な事業が実施されている。 これら復興事業の円滑な進捗にあたっては、地区全体の統括管理・コーディネートが必要であり、本事業を通じて復興事業全体の進捗管理を行うことが必要である。また、集団移転地での住宅再建という新たな段階を迎えることから、地域コミュニティの再構築に向けた検討が必要となるものである。</p>		

※この様式は、原則として、参考様式第 1 の別添 2 に記載した細要素事業ごとに作成し、概要を示す図面を添付してください。

漁業集落復興効果促進事業の概要を示す書類

事業番号	◆C-5-1-2	事業名	(40) 防災備蓄倉庫整備事業
事業概要	<p>1 細要素事業名 防災備蓄倉庫整備事業</p> <p>2 事業の目的 移転復旧後の小本小・中学校は、町の地域防災計画で津波避難時における「避難場所」に指定する予定であるが、災害発生時に必要となる防災用品を保管する場所がないことから、学校敷地内に新たに防災備蓄倉庫を整備するものである。 なお、当該避難場所は、漁業集落防災機能強化事業で整備した集団移転地（三陸鉄道西側 47 区画）の世帯が避難するほか、三陸北縦貫道路・国道 455 号からの自動車による避難者を受入れ、また、帰宅困難となった学校の児童及び生徒が待機するものである。</p> <p>3 事業内容及び事業費 防災備蓄倉庫新築工事（木造平屋建て 59.62 m²） 10,358 千円 工事監理費 453 千円 <u>計 10,811 千円</u></p> <p>4 基幹事業との関連性 岩泉町では町震災復興計画（平成23年 9 月策定）において、計画の目標に「防災体制の強化」を掲げ、漁業集落防災機能強化事業を導入した集落の再編整備、防災安全施設整備を実施しており、計画通り進捗している。 今回計画している防災備蓄倉庫は、防災用品を備蓄し災害時の避難者受入れに備えるものであり、基幹事業と同時に実施することで、多重防御による防災機能の強化が図られ「災害に強いまち」を実現するものである。</p>		

※この様式は、原則として、参考様式第 1 の別添 2 に記載した細要素事業ごとに作成し、概要を示す図面を添付してください。

漁業集落復興効果促進事業の概要を示す書類

事業番号	◆C-5-1-3	事業名	(30) 水産業・漁村復興支援調査事業
事業概要	<p>【事業概要】</p> <p>1 事業名 岩泉町水産業・漁村復興支援調査事業 (水産振興マスタープラン策定調査)</p> <p>2 事業の目的 岩泉町は、東日本大震災により小本漁業発祥の地であった小本集落の低地部が流出するとともに、漁業拠点基地であった小本、茂師漁港が壊滅的被害を受けた。 そこで、岩泉町の基幹産業である漁業の復興を図るためには、観光活用や漁家所得向上に資する地域水産物の地場流通システムの見直し、高齢化による漁業者の減少や後継者不足等の取り組むべき課題があり、効率的・効果的に実施するためには、それらの課題に対する解決策を総合的に整理した水産振興マスタープランの策定が不可欠である。 本事業は、岩泉町の水産振興を図るため、町の復興計画や浜の活力再生プラン等の既存計画等を踏まえつつ、復旧した漁港を最大限利活用できるよう漁港台帳をはじめ施設の被災・復旧情報を整理した上で、地域住民・漁業関係者のニーズを踏まえた水産業の現状の把握や課題の検討を行い、水産加工流通施設、水産観光交流施設等の整備や水産物及び水産加工品の流通改善・高付加価値化、担い手育成等の取り組むべき重点プロジェクトを抽出し、実行に移すための水産振興マスタープランを策定するものである。</p> <p>3 事業内容 (1) 漁港・漁村の被災・復旧情報の整理（漁港施設等） (2) 岩泉町の水産業現況調査（被災前後の状況の変化） (3) 水産振興マスタープラン策定協議会による意見交換 (4) 水産振興に係る項目別課題の整理 (5) 全国先進地事例情報収集 (6) 水産振興マスタープラン（めざすべき姿）の整理 (7) 重点プロジェクトの抽出 (8) 水産振興マスタープランの策定</p> <p>4 事業費 12,517 千円</p> <p>5 事業期間 平成 27 年度</p> <p>【基幹事業との関連性】 事業番号：C-5-1 事業名：漁業集落防災機能強化事業 地域の水産振興を図るにあたり、本調査を実施し、地域の魅力・資源・課題の掘り起こしを行い、当該事業で整備した被災低地を有効に活用することでより効果的・効率的な水産振興の実現が可能となる。</p>		

※この様式は、原則として、参考様式第 1 の別添 2 に記載した細要素事業ごとに作成し、概要を示す図面を添付してください。